

口頭発表プログラム 3月26日

A会場 (D-1341講義室)		B会場 (E-1251講義室)	
座長	4.飼料調製加工・貯蔵・利用	座長	2.造成・管理・栽培
8:30	404. 予乾および糖蜜を添加したギニアグラスサイレージの細菌フローラ。○西野直樹、李 雁水、王 超、Parvin Suraya(岡山大)	8:30	202. 化学肥料、堆肥およびバイオガスプラントの消化液の運用が牧草収量および植生に及ぼす影響—事例報告として—。○義平大樹、阿江邦彦、阿古達木、小阪進一、名久井忠(酪農学園大)
8:45	405. <i>Lactobacillus panis</i> および <i>Lactobacillus frumenti</i> を添加したイタリアンライグラスおよびトウモロコシサイレージの発酵特性と好氣的安定性。○王 超、西野直樹(岡山大)	8:45	203. 北海道中央部における飼料用ダイズ栽培の検討—収量性からみた適性品種と、ホールクロップおよび莢サイレージの嗜好性—。○義平大樹、最首祐一、小阪進一(酪農学園大)、高田寛之、奥村健治(北海道農研)
9:00	406. イタリアンライグラスおよびギニアグラスから調製したダイレクトカットおよび予乾サイレージの発酵特性と細菌フローラ。○李 雁水、西野直樹(岡山大)	9:00	204. 泥炭土における荒廃した採草地の植生改善 —春播、夏播および初冬播したライグラスによる地下茎型雑草の抑制効果の比較—。○阿古達木、川原大貴、義平大樹、小阪進一、新名正勝(酪農学園大)、龍前直紀(雪印種苗)
9:15	407. コーンコブ主体きのこ廃菌床の牛用飼料としての可能性。○溝口泰正、上野 健(長崎県農林技術開発センター)、川口貴之(長崎県農央振興局)、大串正明(長崎県肉用牛改良センター)	9:15	205. 泥炭土における荒廃した放牧地の植生改善 —追播草種とその播種量、および既存優占雑草が改善効果に及ぼす影響—。○阿古達木、小野寺竜之介、河野一良、義平大樹、小阪進一、新名正勝(酪農学園大)、龍前直紀(雪印種苗)
9:30	408. ダイズホールクロップサイレージの高タンパク質粗飼料としての特性。○嶮野英子(東北農研)、金子 真(九州沖縄農研)、魚住 順、出口 新(東北農研)	9:30	206. ネビアグラスにおける短日およびジベレリン処理が分げつ芽の動態と栄養繁殖効率の向上に及ぼす影響。○山野明日香、石井康之、森 康太郎、濱野琴美、井戸田幸子(宮崎大)
9:45	409. 枝豆茎葉残渣サイレージの調製方法の検討。○松田朗海(岩手大学)、堀口健一、高橋敏能、吉田宣夫(山形大)	9:45	207. 南九州におけるパヒアグラス(<i>Paspalum notatum</i>) 品種Tifton-9の定着に及ぼす栽植密度の影響。○森康太郎、石井康之、山野明日香、濱野琴美、井戸田幸子(宮崎大)
10:00	410. 化学肥料、堆肥およびバイオガスプラント消化液を施用したチモシーサイレージの化学成分、発酵品質および嗜好性について。○艾尼瓦尔艾买提、阿江邦彦、照井英樹、義平大樹、名久井忠、安宅一夫(酪農学園大)	10:00	208. Effect of plant density and cutting frequency of dwarf napiergrass combined with intersowing Italian ryegrass on dry matter yield and quality for biomass use in southern Kyushu. ○Lizah Khairani, Yasuyuki Ishii, Sachiko Idota, Renny Fatmiah Utamy (Mitazaki University)
10:15	411. 汎用型飼料収穫機による無切断稲わらの収集性能。○川出哲生、橋 保宏(生研センター)	10:15	209. メタン発酵消化液の施用がシバの分けつ密度に与える影響。○岡本侑記、飛佐 学、浅野陽樹、霧村雅昭、築山忠司、岩佐秀一、杉本安寛、平田昌彦(宮崎大)
10:30	412. TMRセンターの調製・梱包作業に関するアンケート調査。○川出哲生、橋 保宏、志藤博克(生研センター)、山名伸樹(鳥取大)	10:30	210. 牛糞堆肥のみを施用したケンタッキーブルーグラス放牧地における牧草および家畜生産。○北川美弥、平野 清、山本嘉人、中野美和(畜産草地研)
10:45	413. 汎用型飼料収穫機を用いた発酵TMR調製技術。○渡邊 潤、佐々木 淳、佐藤真樹、植村鉄矢(秋田県農林水産技術センター)	10:45	211. 刈払い時期の違いが次年度以降のクマイザサ稈長および稈数に及ぼす影響。○小路 敦(北海道農研)
11:00	414. 近赤外分析法を用いた無粉碎試料による飼料米の成分分析。○甘利雅弘(畜産草地研)、佐藤寛子(秋田県畜産試験場)、野中和久、永西 修(畜産草地研)	11:00	212. クマイザサ草に簡易導入した牧草の次年度における生産量。○小路 敦(北海道農研)
11:15	415. 粗飼料分析におけるエネルギー分散型蛍光X線分析装置での無機成分迅速測定。○篠田英史、三浦俊治(雪印種苗)、小野寺浩(日本電子)、田中秀俊、古川修(雪印種苗)	11:15	213. 麦立毛間水稲直播栽培に適する飼料用麦の収穫適期の解明。○川村淳也、平岡啓司(三重県畜産研究所)
11:30	416. 夏季における発酵混合飼料の給与が乳牛の生産性に及ぼす影響。○田淵雅彦、澤口和宏(徳島県立農林水産総合技術支援センター)、瀬山智宏(大阪府環境農林水産部総合研究所)、岸本雅人(徳島県立農林水産総合技術支援センター)、武内徹郎(徳島県立農林水産部総合研究所)、中井文徳(徳島県立農林水産総合技術支援センター)	11:30	214. ライ麦の倒伏要因と飼料品質への影響。○浅井貴之、山田修三、青木 晃、百瀬浩志(長野県畜産試験場)、太田俊明(伊那市畜保健康衛生所)
11:45	417. 飼料用玄米の加工粒度の違いが乾乳牛の消化性に及ぼす影響。○浅井英樹、河合恒祐、林 登、吉村義久(岐阜県畜産研究所)、野中和久(畜産草地研)	11:45	215. 気象および栽培条件の異なる地域における再生イネの収量の違いについて。○有房詩織、石川尚人(筑波大)、永西 修(畜産草地研)、新出昭吾(広島県立総合技術研究所)、大石克己、福井弘之(徳島県立農林水産総合技術支援センター)、山本泰也(三重県畜産研究所)、田島淳史(筑波大)

口頭発表について: 講演時間12分、質疑応答3分(一鈴: 10分、二鈴: 12分、三鈴: 14分30秒)です。時間厳守をお願いします。プロジェクトが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月26日

A会場 (D-1251講義室)		B会場 (E-1251講義室)	
座長	4.飼料調製加工・貯蔵・利用	座長	2.造成・管理・栽培
13:00	418. トウモロコシと大麦を飼料用粳米に代替した発酵TMRの給与が泌乳前期の乳生産に及ぼす影響。○山本泰也、平岡啓司、川村淳也(三重県畜産研究所)、関 誠(新潟県農業総合研究所畜産研究センター)	13:00	216. アルファルファの定着改善を目的とした表層攪拌法による草地更新事例。○横山 寛、谷津英樹、高山光男(雪印種苗)、齋藤哲範(JA道東あさひ営農センター)
13:15	419. トウモロコシと大麦を飼料用玄米に代替した発酵TMRの給与が泌乳前期の乳生産に及ぼす影響。○関 誠、小橋有里、島津是之、高橋英太(新潟県農業総合研究所畜産研究センター)	13:15	217. リビングマルチを用いた栽培体系におけるライコムギの収量性。○出口 新、魚住 順(東北農研)、金子 真(九州沖繩農研)、嶮野 英子(東北農研)
13:30	420. 発酵TMRは貯蔵中に大腸菌群、糸状菌を検出限界以下にできる。○小橋有里、関 誠、島津是之、高橋英太(新潟県農業総合研究所畜産研究センター)	13:30	218. ソルガムの除草剤を使用しない散播・密植栽培適性のタイプ・品種間差異。○水流正裕、清沢敦志、矢口直輝、後藤和美(長野県畜産試験場)
13:45	421. 生稲わらサイレージや生米ぬかを混合した発酵TMRの肥育中・後期への給与が黒毛和種去勢牛の牛肉中 α -トコフェロール含量および脂肪酸組成におよぼす影響。○高平寧子、金谷千津子、松原久美子、松原禎敏、廣瀬富雄(富山県農林水産総合技術センター)	13:45	219. サイレージ用トウモロコシの条間75cmにおける最適播き幅。○東 政則、立山松男、中原高士(宮崎県畜産試験場)
14:00	422. 緩衝剤添加発酵TMRがルーメン液pHに及ぼす影響。○高浦一希、Lyndon F.Quinitio、石田聡一(雪印種苗)、水口人史(山形東亜DKK)、佐藤繁(岩手大)	14:00	220. スーダン型ソルガム「涼風」の収穫時期に関する研究 第2報 1番草刈り取り時期が飼料品質に及ぼす影響。○有野陽子、清沢敦志、後藤和美、中澤伸夫(長野県畜産試験場)、春日重光(信州大)

口頭発表について:講演時間12分、質疑応答3分(一鈴:10分、二鈴:12分、三鈴:14分30秒)です。**時間厳守をお願いします。**またプロジェクトが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月26日

C会場 (E-1253講義室)			D会場 (1351講義室)		
	座長	若手賞		座長	5.生理・形態・病理・昆虫
8:30	堤道生	103. SPOT-VGT衛星画像を用いた中国内モンゴル草原全域における11年間の植生変化モニタリング。○方 媛、川村健介(広島大)、石川尚人、木村弥瑛、興野若菜(筑波大)、高 娃、吐 雅、ウラントヤ(内モンゴリアカドミカ)	8:30	森田 聡一郎	501. ガレガの発芽に及ぼす覆土厚、土壌水分、温度の影響。○山本神朗、宮島彩夏(帯広畜産大)
8:45		201. 熱帯牧草 <i>Brachiaria brizantha</i> 草地造成法の違いが牧草CP含量に及ぼす影響。○金子 真、山田明央、中村好徳(九州沖縄農研)	8:45		502. カルシウム添加がノシバ(<i>Zoysia japonica</i>)の耐塩性に及ぼす影響。○藤田陽子、高田直希、鎌田あすか、矢口行雄、前田良之(東京農業大)
9:00		301. ハイパースペクトル画像解析を利用した放牧地枯死物量の推定。○鈴木由美子(北里大)、高橋 誠、岡本博史、片岡 崇、柴田洋一(北海道大)	9:00		503. ソルガム品種「SIL-05」は窒素多量施用条件においても硝酸態窒素を蓄積しにくい。○原田久富美、須永義人、川地太兵(畜産草地研)
9:15		303. 大規模草地における精密放牧システムの構築(15)加速度センサーとGPSを利用した放牧牛の採食行動の空間分布。○吉利怜奈(広島大)、渡辺也恭(北海道農研)、川村健介、溝口 諒、李 孝鎮(広島大)	9:15		504. ソルガム紫斑点病耐性遺伝子(ds1)の単離。○川東広幸(農業生物資源研)、春日重光(信州大)、安藤 露、金森裕之(STAFF研)、呉健忠、米丸淳一(農業生物資源研)、佐塚隆志(名古屋大)、松本隆(農業生物資源研)
9:30	佐藤 節郎	304. 放牧経験が放牧牛の行動配分と第一胃液性状に及ぼす影響。○伊藤友紀、鈴木直美、八代田真人、大谷滋(岐阜大)、清 健太郎(愛知県農業総合試験場)	9:30	山川 政明	505. 植物共生糸状菌 <i>Neotyphodium occultans</i> が感染した4倍体イタリアンライグラス開発の試み。○荒川 明、菅原幸哉、柴 卓也、内山和宏、水野和彦(畜産草地研)
9:45		308. Precision farming system on extensive pasture 17. Estimating pasture biomass from ALOS/AVNIR-2 image with ground-based NDVI light sensor measurements in mixed-sawn pasture. ○Hyo-Jin Lee, Kensuke Kawamura(Hiroshima University), Nariyasu Watanabe, Seiichi Sakanoue(National Agricultural Research Center for Hokkaido Region), Yuji Sakuno, Nobukazu Nakagoshi(Hiroshima University)	9:45		506. トウモロコシ品種・系統の根腐病発病程度の幼苗検定と圃場検定での比較。○菅原幸哉、黄川田智洋、月星隆雄、玉置宏之、三ツ橋昇平、岡部郁子(畜産草地研)
10:00		601. チモシー1番草の栄養価に及ぼす窒素施肥の影響。○足利和紀、田中常喜、藤井弘毅(北海道総研北見農業試験場)、出口健三郎(北海道総研根釧農業試験場)、飯田憲司(北海道総研畜産試験場)	10:00		507. トウモロコシ根腐病菌としての <i>Pythium arrhenomanes</i> の病原追加およびリードカナリーグラスの葉枯症状の病原解明。月星隆雄、○菅原幸哉(畜産草地研)、米田正彦(十勝農業改良普及センター)、佐藤 尚、岡部郁子(畜産草地研)
10:15		602. チモシー母材間のSSRマーカーに基づく遺伝距離と収量性。○田中常喜(北海道総研北見農業試験場)、玉置宏之(畜産草地研)、才 宏偉(日本草地畜産種子協会)、足利和紀、藤井弘毅(北海道総研北見農業試験場)、山田敏彦(北海道大)	10:15		508. 飼料用とうもろこしF1の赤かび病抵抗性検定における病原菌接種時期の検討。○江原靖博、三木一嘉(長野県野菜花き試験場)、岡部郁子(畜産草地研)
10:30	水流 正裕	6. 育種	10:30	柴 卓也	509. 飼料用トウモロコシのデオキシニバレノール汚染と <i>Fusarium graminearum</i> 種複合体の胞子飛散数および気象の関係。○湊 啓子、飯田憲司、山川政明(北海道総研畜産試験場)
10:45		603. ソルガムの初期生育に関する遺伝的解析。○市川悦子、春日重光、大原圭祐、次井千裕、山下泰裕、若子由佳里(信州大)、佐塚隆志(名古屋大)	10:45		510. 雌穂の先端露出および損傷が飼料用トウモロコシのデオキシニバレノール汚染に及ぼす影響。○飯田憲司、湊 啓子、山川政明(北海道総研畜産試験場)
11:00		604. ソルガムの採種後における後発基数を用いた再生性評価。○春日重光、市川悦子、大原圭祐、次井千裕、山下泰裕、若子由佳里(信州大)、米丸淳一(生物資源研)	11:00		3. 放牧・家畜管理・行動
11:15	廣井 清貞	605. スーダン型ソルガム「涼風」の収穫時期に関する研究第1報 1番草刈り取り時期が生育・収量に及ぼす影響。○清沢敦志、有野陽子、後藤和美、中澤伸夫(長野県畜産試験場)、春日重光(信州大)	11:15	池田 堅太郎	302. 大規模草地における精密放牧システムの構築(14) Interval PLSを用いた緑色部草量の推定に有効な地上ハイパースペクトル計測波長の領域選択。○川村健介(広島大)、渡辺也恭、坂上清一(北海道農研)、李 孝鎮、溝口諒、吉利怜奈(広島大)
11:30		606. 生育初期におけるトウモロコシおよびソルガムの剪葉処理が生育・収量に及ぼす影響。○清沢敦志、後藤和美、中澤伸夫(長野県畜産試験場)、春日重光(信州大)	11:30		307. Precision farming system on extensive pasture 16. Estimating spatial and temporal variations of pasture biomass and quality using a hand-held crop measuring device. ○Hyo-Jin Lee, Kensuke Kawamura(Hiroshima University), Nariyasu Watanabe, Seiichi Sakanoue(National Agricultural Research Center for Hokkaido Region)
11:45		607. ガンマ線照射によって作出したスイートソルガムbm突然変異系統の農業特性およびアブラムシ耐性。○中川 仁(バイオマス研究センター)、西村 実、奥泉久人(農業生物資源研)	11:45		309. 曲げセンサーによるそしゃく行動判別機器の開発。○新出昭吾、河野幸雄(広島県立総合技術研究所畜産技術センター)、水川貴章(株式会社三宅)
11:45		608. 飼料用トウモロコシF1品種「ゆめちから」F3集団におけるTDN収量および耐倒伏性関連形質のQTL解析。○村木正則(九州沖縄農研)	11:45		310. 放牧飼養法が搾乳牛の食草行動と乳成分に及ぼす影響。○須藤賢司、秋山典昭、上田靖子、朝隈貞樹(北海道農研)

口頭発表について:講演時間12分、質疑応答3分(一鈴:10分、二鈴:12分、三鈴:14分30秒)です。時間厳守をお願いします。プロジェクトが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月26日

C会場 (E-1253講義室)		D会場 (1351講義室)			
座長	6.育種	座長	3.放牧・家畜管理・行動		
13:00	小林真	609. 極短穂性飼料イネ品種「たちすずか」と摘穂処理した普通品種イネの類似性. ○河野幸雄(広島県立総合技術研究所畜産技術センター)	13:00	八代田真人	311. 乳牛の放牧食草時と青刈り草採食時の心拍増加数の比較. ○森 光生、高橋 誠、中辻浩喜、上田宏一郎、近藤 誠司(北海道大)
13:15		610. 暖地における栽培系資源作物の有望草種. ○上床修弘、我有 満(九州沖縄農研)、木村達郎(トヨタ自動車)、桂 真昭、高井智之、山下 浩(九州沖縄農研)	13:15		312. 寒地型牧草と暖地型牧草が混在する草地における黒毛和種繁殖雌牛の放牧時探索行動. ○黒川勇三、甲斐 藍、小椋未来、川村健介(広島大)
13:30		611. エリアンサスにおけるネコブセンチュウ非好適寄主の可能性. ○我有 満、立石 靖、桂 真昭、上床修弘、高井智之、山下 浩(九州沖縄農研)	13:30		313. 北海道和種馬における林床植物の選択順位. ○内山 知、上田宏一郎、中辻浩喜、秦 寛、近藤誠司(北海道大)
13:45	清多佳子	612. 4倍体イタリアンライグラス高乾物率系統の特性. ○久保田明人、秋山征夫、上山泰史(東北農研)	13:45	岡本智伸	314. 放牧条件下におけるヒツジの排糞重推定法の比較. ○進藤和政、山崎正史(国際農林水産業研究センター)、下田勝久(畜産草地研究所)、鳥山和伸、平野聡(国際農研)、Baasanjalbuu B.(モンゴル国立農業大学)
14:00		613. ライグラス、フェスク類およびフェストロリウムにおけるサテライト染色体. ○秋山征夫(東北農研)、木村健智(長岡技術科学大)、久保田明人(東北農研)、山田-秋山仁美(岩手大)、上山泰史(東北農研)	14:00		315. 中国地方の耕作放棄地における野草の主要ミネラル含量. ○堤 道生、高橋佳孝(近中四農研)、惠本茂樹(山口県農林総合技術センター)、伊藤直弥(山口県農林水産部)、佐原重行、吉村知子(広島県立総合技術研究所農業技術センター)、渡邊貴之(家畜改良センター鳥取牧場)

口頭発表について: 講演時間12分、質疑応答3分(一鈴: 10分、二鈴: 12分、三鈴: 14分30秒)です。**時間厳守をお願いします。**またプロジェクトが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月26日		
E会場 (1353講義室)		
	座長	若手賞
8:30	手島 茂樹	101. 公共牧場における長期の放牧管理履歴が生物多様性と生産性に与える影響. ○古澤早耶、吉原 佑、田中繁史、佐藤衆介(東北大)
8:45		102. 野草地・牧草地における放牧後の植物量と種構成の回復パターン. ○岡田美耶、吉原 佑、佐藤衆介(東北大)
9:00		305. 放牧牛のパッチ選択における植物の草高、味覚物質および香気物質の効果. ○横山美沙、堀 雅敏、田中繁史、佐藤和也、小倉振一郎(東北大)
9:15		306. 植物多様性が放牧牛のミネラル摂取と血液性状に及ぼす機能. ○水野速人、佐藤衆介、吉原 佑(東北大)、井上達志、木村和彦(宮城大)、田中繁史、小倉振一郎(東北大)
9:30	関 誠	401. <i>Clostridium beijerinckii</i> がサイレージ発酵品質に及ぼす影響. ○小林寿美(新潟大)、上垣隆一、遠野雅徳、蔡義民(畜産草地研)、高田良三、岡島 毅(新潟大)
9:45		402. 発酵TMRの貯蔵温度および貯蔵日数がin vitroルーメン内における栄養代謝に与える影響. ○近藤誠、清水和麻、Kamal uddin、松井宏樹、苅田修一、後藤正和、藤原勉(三重大)
10:00		403. 飼料用米の破砕処理手法の比較検討. ○井上秀彦、浦川修司、松尾守展、伊吹俊彦、宮地慎、小島陽一郎(畜産草地研)
10:15		801. TMRセンター向けのロール発酵TMR荷役技術の開発(第一報)～荷役具の簡略化改造およびフォークリフト用アタッチの試作～. ○松尾守展、浦川修司、井上秀彦、喜田環樹(畜産草地研)
10:30	原田 久富美	7. 土壌・肥料
10:45		701. 前作物が飼料用トウモロコシの菌根菌感染に及ぼす影響とリン酸減肥の可能性. ○八木哲生(北海道総研根創農試)、小林創平(北海道農研)、松本武彦(北海道総研根創農試)、安 起弘(北海道農研)
11:00		702. 飼料用トウモロコシの菌根菌感染の品種間差とリン酸減肥の可能性. ○小林創平、安 起弘(北海道農研)、岡元英樹、古館明洋(北海道総研上川農試)、八木哲生(北海道総研根創農試)
11:15	岡元 英樹	703. 牧草生産における堆肥と化学肥料の組み合わせ利用技術の検討. ○佐藤寛子、渡邊 潤、加藤真姫子、植村鉄矢(秋田県農林水産技術センター)
11:30		704. 有機性発酵消化液由来の堆肥施用が飼料作物の成長と土壌化学性に及ぼす影響. ○井戸田幸子、杉本安寛、霧村雅昭(宮崎大)、浅野陽樹(鹿児島大)
11:45		705. バイオマス資源作物ダンチクの生育に及ぼす窒素源とpHの影響. ○高溝 正、高橋 亘、小林 真、蝦名真澄(畜産草地研)
<p>口頭発表について:講演時間12分、質疑応答3分(一鈴:10分、二鈴:12分、三鈴:14分30秒)です。 時間厳守でお願いします。プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。</p>		

口頭発表プログラム 3月26日		
E会場 (1353講義室)		
座長	1. 草地生態・システム分析・緑地環境	
13:00	場的場 和弘	104. 青海湟源県寒、暖季放牧草地群集の特徴。 陳俊、顔増霞、張鵬莉(西北農林科技大学)、○塩見正衛(茨城大)
13:15		105. 内蒙古 錫林郭勒ステップ(錫林浩特)における48年間の気温と降水の変化。 亦如瀚(暨南大学)、艾 坤。馬柱国(中科院 大気物理研究所)、○塩見正衛(茨城大)
13:30		106. 耕作放棄地における放牧導入後の優占野草種の動態。 ○堤 道生(近中四農研)、深澤 充(畜産草地研)、惠本茂樹(山口県農林総合技術センター)、新出昭吾(広島県立総合技術研究所畜産技術センター)、熊谷周一郎(家畜改良センター鳥取牧場)、高橋佳孝(近中四農研)
13:45	川村 健介	107. 外来牧草が侵入・優占する草地と優占しない草地。 ○西脇亜也、田島有貴(宮崎大)
14:00		108. 利用放棄したセンチピードグラス放牧草地の植生推移。 ○山本嘉人、平野清、北川美弥、中野美和(畜産草地研)、西田智子(農林水産省)
<p>口頭発表について:講演時間12分、質疑応答3分(一鈴:10分、二鈴:12分、三鈴:14分30秒)です。時間厳守をお願いします。またプロジェクトが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。</p>		

口頭発表プログラム 3月27日

A会場 (D-1341講義室)		B会場 (E-1251講義室)		
	座長	4.飼料調製加工・貯蔵・利用	座長	2.造成・管理・栽培/3.放牧・家畜管理・行動/8.その他
8:30	高平寧子	423. 焼酎粕添加混合サイレージの乳牛への給与が栄養代謝と乳生産に及ぼす影響。 ○西村慶子、恒吉吉和、鶴田清秀、中園締二、中原高士(宮崎県畜産試験場)	8:30	221. トウモロコシの赤かび病抵抗性とカビ毒産生における品種差。 ○魚住 順(東北農研)、芦田倫子(青森県産業技術センター)、尾張利行(岩手県農業研究センター)、佐藤寛子(秋田県農林水産技術センター)、荒木利幸(宮城県畜産試験場)、石山 徹(山形農業総合研究センター)、松澤 保(福島県農業総合センター)、嶺野英子、出口新、内野 宙(東北農研)
8:45		424. Effect of feeding oxalate-containing grass on intake some mineral and parathyroid hormone concentrations in blood of sheep. ○Mohammad Mijanur Rahman, Toshinori Nakagawa, Mitsuhiro Niimi, Osamu Kawamura, Kiichi Fukuyama (Miyazaki University)	8:45	802. 分離プレートと放出プレートからなる種子の高速線出機構 第2報。 ○橋 保宏、川出哲生(生研センター)
9:00		425. めん羊におけるヨシサイレージとくず大麦の栄養価評価。 ○浅野桂吾、石田元彦(石川県立大)	9:00	803. ニュージーランド草地畜産の発展が示唆すること。 ○田村良文(東北農研)、カ丸宗弘(秋田県農林水産技術センター)、今成麻衣(東北農研一)、Mohammed Al-Mamun(岩手大)、吉田泰二(東北農研)、藤村 忍(新潟大)、佐野宏明(岩手大)
9:15		426. 刈り取り2年目のヨシの収量。 ○石田元彦、新家彩子、浅野桂吾、松本直樹、吉田和泉(石川県立大)	9:15	804. イネWCSの生産履歴管理システムの構築。 ○浦川修司、松尾守展、喜田環樹(畜産草地研)
	座長	1. 草地生態・システム分析・緑地環境		
9:30	板野志郎	114. 飼料用トウモロコシ畑における生産管理システムの構築— ハイパースペクトルデータを用いた飼料用トウモロコシ(<i>Zea mays</i> L.)の水分の推定と収穫適期の判定(2) —。 ○中坪あゆみ、田中勝千、杉浦俊弘、皆川秀夫(北里大)	9:30	橘保宏 321. 牛が育てる「放牧野菜」。 ○池田堅太郎(東北農研)
9:45		115. 高分解能マルチスペクトル衛星データを用いた飼料用トウモロコシの収量およびす紋病罹病程度の推定:2009年の例。 ○牧野 司、出口健三郎、林拓(北海道総研根釧農業試験場)、濃沼圭一(北海道農研)		
10:00		116. 局所スケールでの種の移動性と空間パターン形成の探索的解析。 ○安田泰輔、中野隆志、杉田幹夫、北原正彦、池口 仁(山梨県環境科学研究所)		
<p>口頭発表について:講演時間12分、質疑応答3分(一鈴:10分、二鈴:12分、三鈴:14分30秒)です。時間厳守をお願いします。またプロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。</p>				

口頭発表プログラム 3月27日

C会場 (E-1253講義室)			D会場 (1351講義室)		
	座長	3.放牧・家畜管理・行動		座長	6.育種
8:30	高橋俊	316. 春季および夏季におけるコーンサイレージ併給下の放牧泌乳牛への濃厚飼料給与量が食草量および乳生産に及ぼす影響。 ○上田宏一郎、高橋 誠、中辻浩喜、近藤誠司(北海道大)	8:30	荒川明	614. 分子細胞学的手法による二倍体フェストロリウムF4世代におけるゲノム構成の解析。 ○木村健智(長岡技術科学大)、秋山征夫、久保田明人(東北農研)、高原美規(長岡技術科学大)、上山泰史(東北農研)
8:45		317. ウシにおける長草型イネ科草の短期摂取行動:トウモロコシを用いた予備実験。 ○平田昌彦、谷川友美、飛佐 学(宮崎大)	8:45		615. オーチャードグラス高WSC含量系統におけるWSC含量とサイレージ品質の特性。 ○真田康治(北海道農研)、谷津英樹、横山 寛、北村 亨、高山光男(雪印種苗)、田村健一、田瀬和浩(北海道農研)
9:00		318. 割当て草量と採食量の関係における変動要因の解析。 ○中神弘詞、板野志郎(畜産草地研)、須藤賢司(北海道農研)、梶村恭子、井出保行(畜産草地研)	9:00		616. 表現型循環選抜によるシロクローバの耐寒性の改良(2) ○高田寛之、奥村健治、松村哲夫、廣井清貞(北海道農研)
9:15	進藤和政	319. 放牧飼養における温室効果ガス発生量の評価(6)牛の尾に装着した加速度計データを利用したふん排出時間の自動的検出法の検討。 ○渡辺也恭、坂上清一(北海道農研)、川村健介(広島大)	9:15	真田康治	617. 直接遺伝子導入法の開発に向けた易再分化ソルガム系統の選抜。 ○中山繁樹(農業生物資源研)
9:30		320. 放牧飼養における温室効果ガス発生低減化対策—水飲み場設置位置が傾斜放牧地のふん分布に及ぼす影響—。 ○渡辺也恭、坂上清一(北海道農研)、川村健介(広島大)	9:30		618. ルジグラス(<i>B. ruziziensis</i>)におけるソマクローナル変異とその発生要因。 ○石垣元気、権藤崇裕(宮崎大)、末永一博(国際農研)、明石 良(宮崎大)
			9:45		619. 寒地型イネ科牧草に広く適用可能なDNAマーカーの開発。 ○米丸淳一(農業生物資源研)、田村健一(北海道農研)、清多佳子(畜産草地研)

口頭発表について: 講演時間12分、質疑応答3分(一鈴: 10分、二鈴: 12分、三鈴: 14分30秒)です。時間厳守をお願いします。またプロジェクトが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月27日		
E会場 (1353講義室)		
座長	1. 草地生態・システム分析・緑地環境	
8:30	北川 美弥	109. 草地には何種類の草が必要か？ —放牧牛のミネラル要求量からの視点— ○吉原 佑、水野速人、小倉振一郎、佐藤衆介(東北大)
8:45		110. 牛放牧条件下で生き残る落葉樹萌芽株を持つ樹形的・化学的特性。○福田栄紀(東北農研)、須山哲男(畜産技術協会)、八木隆徳(北海道農研)
9:00		111. ネムノキの肥料木・被陰樹としての評価 その樹冠下に生育する植物の地上部の生育と飼料成分含量。○福田栄紀(東北農研)、須山哲男(畜産技術協会)、八木隆徳(北海道農研)
9:15	住田 憲俊	112. ボリビア北東部低地湿潤草原の植生。○林 治雄(元:畜産草地研)、トリス・イエス、アルベルト・ヒノサ(ボリビア国立家畜改良センターベニ支所)
9:30		113. Paja Toruna (<i>Paspalum virgatum</i> and <i>P. densum</i>) の特性 1.種子生産。 ○林 治雄(元:畜産草地研)
9:45		117. コムギ圃場に侵入・野生化したエンドファイト感染イタリアンライグラスがアカスジカスミカメに及ぼす影響。○水元駿輔、山口 翔、山下雅幸、澤田 均(静岡大学)、松野和夫、市原 実、稲垣栄洋(静岡県農林技術研究所)、柴 卓也、菅原幸哉(畜産草地研究所)
<p>口頭発表について:講演時間12分、質疑応答3分(一鈴:10分、二鈴:12分、三鈴:14分30秒)です。<u>時間厳守をお願いします</u>。またプロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。</p>		

ポスター発表 3月27日 10:30~12:00 (大学会館・多目的ホール)

1. 草地生態・システム分析・緑地環境

P1	モンゴルの放牧地生態系における放牧による植物群集の非線形な変化に伴う飼料価値の変化. ○佐々木雄大(東北大)、大黒俊哉(東京大)、Jamsran Undarmaa(モンゴル農大)、武内和彦(東京大)
P2	シバ型草地の分類と改良草地における牧草の消長. ○下田勝久、板野志郎(畜産草地研)
P3	イタリアンライグラスが自生する採草地における刈り取り時期による植生および収量性の差異. 佐々木亨、○平田球子、北原徳久(日本草地畜産種子協会)、原島徳一(元:日本草地畜産種子協会)、森口克彦(福島県農林水産部畜産課)、武藤健司(福島県農業総合センター)
P4	LIMEを用いた酪農における環境影響の統合化. ○築城幹典、齋藤弘太郎、前田武己(岩手大)
P5	わが国の草地・飼料畑土壌における炭素蓄積量の試算. ○築城幹典、前田武己(岩手大)
P6	北海道および岩手県における飼料用サイレージ生産の環境影響評価. ○日野澤義子、築城幹典、前田武己(岩手大)
P7	ALOS AVNIR-2データを用いた草地現存量の推定. ○樽見恵梨奈、築城幹典(岩手大)、増田隆晴、菊池恭則(岩手県農業研究センター)、石橋菜奈子、前田武己(岩手大)
P8	採草地の生産管理-窒素動態モデルによるシナリオ予測. ○板野志郎、寶示戸雅之(畜産草地研)、富松 元(国立環境研)、松浦庄司、山本 博、佐々木寛幸(畜産草地研)
P9	放牧によるシバ優占草地の長期的な生草量の変動. ○板野志郎(畜産草地研)、富松 元(国立環境研)、堤 道生(近中四農研)、坂上清一(北海道農研)、中神弘詞(畜産草地研)、高橋繁男(日本草地畜産種子協会)、高橋 俊(北海道農研)
P10	ジオスタティスティクスによる採草地収量の空間変動の把握. ○鈴木由美子(北里大)、岡本博史(北海道大)、田中勝千、杉浦俊弘(北里大)
P11	半自然草地における多遷移段階の粗放的な維持に関する試案. ○安田泰輔、中野隆志、杉田幹夫、北原正彦(山梨県環境科学研究所)
P12	北上山地半自然草地における木本当年生実生への放牧の影響. ○東山雅一(東北農研)、下田勝久(畜産草地研)、池田堅太郎(東北農研)
P13	ネザサ優占草地における禁牧にともなう植物種組成の空間変動の推移. ○岡本智伸、伊藤秀一、梶田聖孝(東海大)
P14	大規模草地における精密放牧システムの構築(13) 地上ハイパースペクトル計測に基づく放牧草地の牧草ミネラル成分の推定に有効なモデルと波長情報の検討. 溝口 諒、○川村健介、吉利怜奈、李 孝鎮(広島大)、渡辺也恭、坂上清一(北海道農研)、黒川勇三(広島大)
P15	採草地を対象とした航空機リモートセンシング(第1報). ○田中勝千、中坪あゆみ、杉浦俊弘、皆川秀夫(北里大)
P16	航空機搭載型ハイパースペクトルセンサを活用した採草地における生育状況の広域的推定. ○中澤明寛、三谷琢司(アジア航測株式会社)、義平大樹、星野仏方(酪農学園大)、河合雅己(資源・環境観測解析センター)

2. 造成・管理・栽培

P17	飼料用トウモロコシ栽培における不耕起播種機の改良. 川野耕次、○西村慶子、成田米光、東 政則、立山松男、中原高士(宮崎県畜産試験場)
P18	神奈川県におけるトウモロコシ二期作の品種の組み合わせ及び播種期の検討. ○折原健太郎(神奈川県農業技術センター)
P19	神奈川県におけるトウモロコシ二期作の施肥方法に関する検討. ○折原健太郎(神奈川県農業技術センター)
P20	数種の成長関数における関連性について. ○下條 雅敬、中野 豊(九州大)
P21	天北地域におけるサイレージ用とうもろこしの狭畦栽培での施肥法による収量への影響. ○井内浩幸(北海道総研上川農業試験場)

ポスター発表 3月27日 10:30~12:00 (大学会館・多目的ホール)

2. 造成・管理・栽培

P22	水田圃場において畝立て播種法および肥効調節型肥料を用いた場合のサイレージ用トウモロコシ2品種の乾物収量。 ○菅野勉、森田聡一郎、佐藤節郎、住田憲俊、伊吹俊彦、井上秀彦(畜産草地研)
P23	イタリアンライグラス収穫跡地での縦軸型ハローを用いたトウモロコシ簡易耕うん同時播種の有利な点について。 ○住田憲俊、伊吹俊彦、井上秀彦(畜産草地研)
P24	那須地域における移植栽培による飼料用とうもろこしの二期作の検討。 ○住田憲俊、伊吹俊彦、井上秀彦(畜産草地研)
P25	オオムギおよびコムギの食用品種・系統の飼料作物としての評価。 ○佐藤節郎、森田聡一郎、菅野勉(畜産草地研)、中村洋、吉岡藤治(作物研)
P26	南西諸島地域の冬季におけるイタリアンライグラスの栽培管理。 ○波平知之、水町進、石垣圭一、井村信弥、新城健(琉球大)
P27	暖地型牧草センチピードグラスの寒冷地域における被度推移。 ○平野清、北川美弥、中野美和、山本嘉人(畜産草地研)、清水矩宏(神津牧場)、寺田裕(動物衛生研)、戸澤芳郎(家畜改良センター)、中村道長(家畜改良センター)、藤森雅博(山梨県酪農試験場)、池田堅太郎(東北農研一)、池田哲也、井出保行、手島茂樹(畜産草地研)
P28	窒素の施肥形態が暖地型イネ科牧草の生育に及ぼす影響。 ○井戸田幸子、石井康之(宮崎大)
P29	シバ草地へのメタン発酵消化液施用が収量と土壌環境に及ぼす影響(第4報、4年間の結果)。 ○霧村雅昭(宮崎大)、浅野陽樹(鹿児島大)、飛佐学、井戸田幸子、杉本安寛(宮崎大)
P30	新規マメ科牧草ガレガ・チモシー混播草地の夏期造成 4. 利用3年間のガレガ率からみた播種期限とガレガ播種量。 ○高橋俊、八木隆徳(北海道農研)

3. 放牧・家畜管理・行動

P31	水田裏作を利用した肉用牛のための周年放牧。 ○佐々木亨、北原徳久(日本草地畜産種子協会)、原島徳一(元:日本草地畜産種子協会)
P32	チカラシバに対するヤギの嗜好性について。 ○大竹秀男、小泉孝太(宮城大)
P33	放牧飼養における温室効果ガス発生量の評価(4)札幌の放牧地における牛ふん尿由来の一酸化二窒素とメタンの発生。 ○秋山典昭、八木隆徳、須藤賢司、小路敦、渡辺也恭、坂上清一、松村哲夫、永田修(北海道農研)
P34	放牧飼養における温室効果ガス発生量の評価(5)放牧地の裸地部分からの二酸化炭素、一酸化二窒素、メタンの発生。 ○秋山典昭、八木隆徳、須藤賢司、小路敦(北海道農研)
P35	牛の放牧を利用した森林更新技術の開発2 -放牧和牛の採食行動および栄養状態の推移-。 ○八代田真人、谷口将啓、岡田佑太、平勇人、向島幸司、坂口慎一、石田仁、大谷滋(岐阜大)
P36	モンゴル国森林ステップ地域での寒冷季における放牧去勢ヒツジへのフスマ給与が体重と斃死率に及ぼす影響。 ○山崎正史(国際農研)、Baasanjalbuu B、Zolzaya.B.(モンゴル国立農業大)、進藤和政、鳥山和伸(国際農研)
P37	モンゴル国森林ステップ地域での代表的草種におけるクロフィル測定手法の検討。 ○山崎正史(国際農研)、Baasanjalbuu B、Zolzaya.B.(モンゴル国立農業大学)、進藤和政、鳥山和伸(国際農研)
P38	電気牧柵碍子資材としてのホース等安価で入手しやすい資材の有効性。 ○金子真、蒼博行、中村好徳、山田明央(九州沖縄農研)
P39	本州中部の落葉広葉樹二次林における夏季放牧(3)孔状皆伐による林内草地の造成が放牧牛の体重変化に及ぼす影響。 ○井出保行、中神弘詞(畜産草地研)
P40	ウシの粗飼料選択性と摂取量に及ぼす植物由来香気物質および味覚物質の効果。 ○横山美沙、堀雅敏、小倉振一郎(東北大学)
P41	放牧もしくは生草給与によりペレニアルライグラス主体放牧草を採食した牛の微生物態窒素合成量。 ○中野美和、的場和弘、細田謙次、松山裕城、宮地慎(畜産草地研)、谷口幸三、杉野利久(広島大学)、深澤充(畜産草地研)
P42	小規模移動放牧による肥育素牛の放牧育成 2. 放牧時の増体と肥育結果について。 ○手島茂樹、池田哲也(畜産草地研)、進藤和政(国際農研)

ポスター発表 3月27日 10:30~12:00 (大学会館・多目的ホール)

4. 飼料調製加工・貯蔵・利用

P43	イネホークロップサイレージ茎葉部の無粉砕試料を用いたセルラーゼ分解性の評価. ○田中 治、小綿寿志、押部明德、大谷隆二(東北農研)、本間裕人、中西載慶(東京農業大学)
P44	くず大豆のサイレージ発酵品質と発酵に伴うタンパク画分の変化. ○河本英憲(東北農研)、増田隆晴(岩手県農業研究センター)
P45	飼料用米を活用した乳牛用ペレット飼料の開発. ○田川 伸一(清水港飼料)、平林志野、吉田宣夫、堀口健一、高橋 敏能(山形大学)
P46	イオン電極法による発酵TMRおよびサイレージ中のアンモニア態窒素濃度の簡易測定. 中西良孝(鹿児島大学)、○服部育男(九州沖縄農研)、田川光梨、高山聡子、高山耕二(鹿児島大学)、神谷 充、佐藤健次(九州沖縄農研)
P47	各種添加剤がバイオマスソルガム貯蔵中における炭水化物回収率に及ぼす影響. ○服部育男、加藤直樹、佐藤健次、我有満(九州沖縄農研)
P48	稲発酵粗飼料に調製した岩手県育成非主食用米品種「つぶゆたか」の飼料特性と収穫適期. ○尾張利行、多田和幸、福士恵子、高橋ミヨス、山口はる美、福田淳子、渡邊麻由子、高橋彩子(岩手県農業研究センター)
P49	Chemical Composition and Silage Fermentation of Potato and Sweet Potato Bio-ethanol By-product ○Ahmad Wahyudi (Muhammadiyah Malang University), Huili Pang (Zhengzhou University), Zaenal Bachrudin (Gadjah Mada University), Mitsuhiro Akakane (National Food Research Institute)
P50	Characteristics of High Temperature-tolerant Lactic Acid Bacteria and Silage Fermentation ○Huili Pang (Zhengzhou University), Yimin Cai, Hisami Kobayashi, Masanori Tohno (National Institute of Livestock and Grassland Science)
P51	細断型ロールペーラを使用したイアコンサイレージ調製における梱包密封時損失率. ○大津英子、大下友子、青木康浩、高橋 俊、上田靖子(北海道農研)、滑川拓朗(家畜改良センター十勝牧場)、高田雅透(IHスター)
P52	浮イネRayadaの飼料化 -2009年, 2010年の結果-. 山長 聖和、○中野 豊、望月俊宏、下條雅敬(九州大学)
P53	飼料用米のサイレージ調製時の処理が発酵品質に及ぼす影響. ○井上秀彦、上垣隆一、遠野雅徳(畜産草地研)、小林寿美(新潟大学)、伊吹俊彦(畜産草地研)
P54	ミニフレコン調製サイレージの発酵品質に及ぼす糖蜜添加効果. ○堀口健一、飯田つかさ、小山久美子(山形大学)、石田 伸(三洋)、高橋敏能、吉田宣夫(山形大学)

5. 生理・形態・病理・昆虫

P55	エンドファイトを利用したイタリアンライグラス(<i>Lolium multiflorum</i> Lam.)の特性の改良. X I. 黒毛和種育成牛に対する有用エンドファイト感染品種「びしゃもん」飼料の安全性評価. ○佐々木亨、平田球子、北原徳久(日本草地畜産種子協会)
P56	施肥窒素の化合形態と濃度がアルファルファ根系のフラクタル次元とラクナリティーに及ぼす影響. ○廣瀬大介(南九州大学)
P57	Difference in heat tolerance between C3 and C4 species and tolerance to oxidative stress ○Soliman Wagdi, 杉山 修一(弘前大学)
P58	飼料用トウモロコシ用赤かび病菌(<i>Fusarium graminearum</i>)接種のための器具作成とその実用性. 湊 啓子、○山川政明、飯田憲司(北海道総研畜産試験場)
P59	殺菌剤オリサストロピンのイタリアンライグラスいもち病への効果. ○東 政則、立山松男、中原高士(宮崎県畜産試験場)
P60	<i>Neotyphodium uncinatum</i> 感染イタリアンライグラスのカメムシ類抑制効果. ○柴 卓也(畜産草地研)、睦門由果子(家畜改良センター)、佐々木亨(日本草地畜産種子協会)
P61	赤かび病菌の有傷接種による飼料用トウモロコシ品種のフモニシン蓄積抵抗性評価と自然感染による評価の差異. ○岡部郁子(畜産草地研)、三木一嘉、江原 靖博(長野県野菜花き試験場)、平岡久明(農林水産消費安全技術センター)、菅原 幸哉、月星 隆雄(畜産草地研)
P62	休眠解除にともなうイタリアンライグラスの発芽温度域の変化. ○足立行徳、山下雅幸、澤田 均(静岡大)、浅井元朗(中央農総研)

ポスター発表 3月27日 10:30~12:00 (大学会館・多目的ホール)

6. 育 種

P63	イネ科永年性草本エリアンサスの母系間差 第2報. ○小林 真、藪田真一(畜産草地研)、我有 満、上床修弘(九州沖縄農研)、寺島義文、杉本 明(国際農研)
P64	フェストロリウム新品種「東北1号」と「イカロス」の特性. ○上山泰史(東北農研)、米丸淳一(農業生物資源研)、久保田明人、秋山征夫(東北農研)
P65	アルファルファの耐踏圧性に関する研究(4)選抜第2世代系統の2年目の耐踏圧性について. ○廣井清貞、松村哲夫、奥村健治、高田寛之(北海道農研)
P66	ドクムギ×イタリアンライグラスのF1雑種の花粉稔性、自殖稔性および形態特性. ○清 多佳子、荒川 明、内山和宏、高溝正(畜産草地研)杉田紳一(日本草地畜産種子協会)
P67	チモシーとコムギ由来フルクタン合成酵素遺伝子を導入したイネ科モデル植物 <i>Brachypodium distachyon</i> 形質転換体の比較解析. ○田村健一、眞田康治、田瀬和浩(北海道農研)、川上 顕(中央農総研)、吉田みどり(北海道農研)、山田敏彦(北海道大学)
P68	バイオマス資源作物ダンテクにおけるオルガノジェニックカルス培養系の確立. ○高橋 亘、高溝 正、小林 真、蝦名真澄(畜産草地研)
P69	DNAマーカー選抜によるイタリアンライグラスの世代促進. ○早坂邦昭、古谷明彦(家畜改良センター茨城牧場長野支場)、大浦康子(家畜改良センター熊本牧場)、荒川 明、清 多佳子(畜産草地研)、藤岡洋子、藤森 雅博(山梨県酪農試験場)
P70	イタリアンライグラスにおけるDNAマーカーを用いた戻し交雑による育種の過程での諸特性の変異. ○荒川 明、清 多佳子(畜産草地研)、早坂邦明、古谷明彦(家畜改良センター)、藤岡洋子、藤森雅博(山梨県酪農試験場)
P71	寒地向きサイレージ用トウモロコシ新旧品種における推定TDN収量と各種形質との相関解析:寒温年・暖温年2か年間の解析. ○齋藤修平、濃沼圭一、伊東栄作(北海道農業研)、小松敏憲(北海道農業研、現:農林水産技術情報協会)、岡 紀邦、岡崎圭毅、信濃卓郎(北海道農研)
P72	コルヒチン処理により得られた冠さび病抵抗性倍加ライグラス後代におけるフローサイトメーターを用いた選抜. ○藤岡洋子(山梨県酪農試験場)、清 多佳子、荒川 明(畜産草地研)、早坂邦昭、古谷明彦(家畜改良センター茨城牧場長野支場)、藤森雅博(山梨県酪農試験場)
P73	ペレニアルライグラス発芽種子におけるコルヒチン処理法の検討. ○藤岡洋子、保倉勝己、藤森雅博(山梨県酪農試験場)
P74	ペレニアルライグラス新系統「ハヶ岳T-26号~T-29号」の山梨県での越夏性. ○藤森雅博、藤岡洋子、保倉勝己(山梨県酪農試験場)
P75	ペレニアルライグラス育種における新しい選抜方法の効果. ○藤森雅博、藤岡洋子、保倉勝己(山梨県酪農試験場)
P76	DNAマーカーを用いたクレーピングベントグラスと我が国に自生する <i>Agrostis</i> 属との交雑後代の同定(3)クレーピングベントグラスとレッドトップの雑種の競争性について. ○高溝 正、清 多佳子(畜産草地研)、榎本 敬(岡山大学)、山田敏彦(北海道大学)
P77	わい性チガヤにおける効率的な大量増殖と苗生産. ○権藤崇裕(宮崎大学)、繁木雄一(富士化学)、神川典子、明石 良(宮崎大学)
P78	イオンビーム照射によって得られたアポミクス遺伝子領域における欠失変異体の特定. ○高原 学、蝦名真澄、飯村敬二(畜産草地研)、森田竜平、風間裕介、阿部知子(理研・仁科センター)、高溝 正(畜産草地研)、中川 仁(バイオマス研究センター)
P79	トールフェスク高消化性系統の育成 3. 高消化性3回選抜系統の消化性と収量性. ○内山和宏、水野和彦、荒川 明(畜産草地研)

ポスター発表 3月27日 10:30~12:00 (大学会館・多目的ホール)

7. 土壌・肥料

P80	半自然草地における管理の違いがアーバスキュラー菌根菌相に及ぼす影響. ○小島知子、北川美弥、平野清、山本嘉人(畜産草地研)、大場広輔(東京大学)、中神弘詞、井出保行(畜産草地研)、黒川勇三(広島大学)
P81	カリ施肥が寒地型牧草3草種の生育と飼料成分に及ぼす影響. ○岡元英樹、古館明洋(道総研天北支場(現:道総研中央農試))、増子孝義(東京農業大学)
P82	菌根のリン酸輸送に関わるミヤコグサ変異体のスクリーニング. 池上佳苗、○齋藤勝晴(信州大学)
P83	<i>Brachiaria</i> 属シグナルグラスのアルミニウム耐性における根端細胞壁の機能. 佐々木一豪、山田勢悟、溝渕裕一、○正岡淑邦(広島大学)
P84	乳用種育成牛の放牧時のふん尿量と養分還元量. ○八木隆徳、高橋 俊(北海道農研センター)
P85	土壌の交換性カリウム含量に基づくトウモロコシの施肥管理. ○須永義人、川地太兵、原田久富美(畜産草地研)
P86	センチピードグラス草地におけるアーバスキュラー菌根菌の菌根形成率の季節変動. 1.斜面方位の影響. ○飛佐 学、内田義規、池田芳典、平田昌彦(宮崎大学)
P87	センチピードグラス草地におけるアーバスキュラー菌根菌の菌根形成率の季節変動. 2.立地、品種および管理条件の異なる4草地の比較. ○飛佐 学、内田義規、池田芳典、平田昌彦(宮崎大学)

8. その他

P88	梱包・密封堆肥の解体装置の開発. ○平岡啓司、川村淳也、山田陽稔(三重県畜産研究所)、菅野 勉、小林良次、伊吹俊彦(畜産草地研)
P89	稲WCSを生産・利用する耕畜連携システムにおける窒素フロー. ○小林良次(畜産草地研)